

平成29年 1月20日(金)
九州地方整備局
熊本河川国道事務所

白川・緑川に関する市長・町長と、洪水氾濫に対する減災対策について議論します！！

～白川水防災意識社会再構築協議会（仮称）、緑川水防災意識社会再構築協議会（仮称）の開催～

平成27年9月関東・東北豪雨により大規模な浸水被害が発生したことを踏まえ、河川管理者、県、市町等が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進することにより、白川、緑川において氾濫が発生することを前提として洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とした「白川水防災意識社会再構築協議会（仮称）、緑川水防災意識社会再構築協議会（仮称）」を合同開催致します。

記

- ・日 時：平成29年 1月27日(金) 13:00～15:00
- ・場 所：熊本ホテルキャッスル キャッスルホール（2階）（別紙-1のとおり）
熊本市中央区城東町4-2
- ・出席機関：熊本市、宇土市、嘉島町、御船町、甲佐町、美里町、熊本地方气象台、
熊本県、熊本河川国道事務所、立野ダム工事事務所、緑川ダム管理所
- ・その他：報道機関のみの公開となります。テレビカメラ等による撮影は、意見交換の妨げにならないようご配慮願います。

問い合わせ先：国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所

技術副所長 甲斐 浩幸

調査第一課長 牟田 弘幸

TEL 096-382-1111 FAX 096-382-4253

白川水防災意識社会再構築協議会(仮称) 緑川水防災意識社会再構築協議会(仮称)

日時: 平成29年1月27日(金)13時00分～

会場: 熊本ホテルキャッスル キャッスルホール(2階)
熊本市中央区城東町4-2



水防災意識社会 再構築ビジョン

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「**水防災意識社会 再構築ビジョン**」として、全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う。

<ソフト対策> ・住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「**住民目線のソフト対策**」へ転換し、平成28年出水期までを目途に重点的に実施。

<ハード対策> ・「**洪水氾濫を未然に防ぐ対策**」に加え、**氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」**を導入し、平成32年度を目途に実施。

主な対策

各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。



大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方 答申

～ 社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築 ～

○行政・住民・企業等の各主体が**水害リスクに関する知識と心構え**を共有し、**氾濫した場合でも被害の軽減を図るための、避難や水防等の事前の計画・体制、施設による対応が備えられた社会**を目指す。

○対応すべき課題

- 危険な区域からの立ち退き避難
 - ✓ 市町村・住民等の適切な判断・行動
 - ✓ 市町村境を越えた広域避難
- 水防体制の弱体化
- 住まい方や土地利用における水害リスクの認識の不足
- 「洪水を河川内で安全に流す」施策だけで対応することの限界

○住民目線のソフト対策への転換

これまでの河川管理者等の行政目線のものから**住民目線のものへと転換し、利用者のニーズを踏まえた真に実戦的なソフト対策の展開**を図る

- 円滑かつ迅速な避難の実現
 - ・家屋倒壊等氾濫想定区域等、立ち退き避難が必要な区域を表示するなど、**避難行動に直結したハザードマップに改良**
 - ・広域避難等の計画づくりを支援する**協議会等の仕組みの整備**
 - ・スマートフォン等を活用した**プッシュ型の河川水位情報の提供** 等
- 的確な水防活動の推進
 - ・水防体制を確保するための**自主防災組織等の水防活動への参画** 等
- 水害リスクを踏まえた土地利用の促進
 - ・開発業者や宅地の購入者等が、土地の水害リスクを容易に認識するため、**様々な場所での想定浸水深の表示**
 - ・不動産関連事業者への**洪水浸水想定区域の説明会等の開催** 等

○危機管理型ハード対策の導入

従来の「洪水を河川内で安全に流す」対策に加え、**氾濫した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」**を導入する

- 減災のための危機管理型ハード対策の導入
 - ・越水等が発生した場合でも**決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策の推進**
 - ・堤防構造の工夫や氾濫水を速やかに排水するための排水対策等の「**危機管理型ハード対策**」とソフト対策を**一体的・計画的に実施するための仕組みの構築** 等